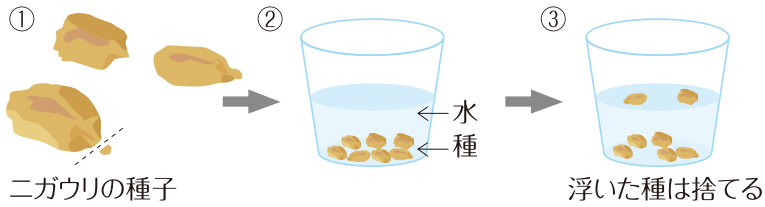




1 種の準備・畑の準備

種の準備

ニガウリの種子は硬くて発芽しにくいので、種まきの前には種子の端を一部傷をつけ、一昼夜ぬるま湯につける。



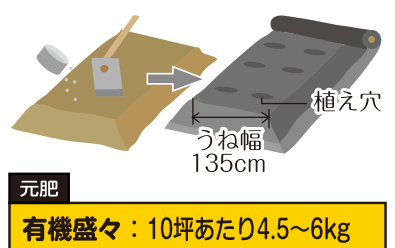
土作り

植え付けの2週間前までに「良菜健穂」、「大地」、「コフナ」をまいて深く耕し土作りを行う。



元肥・うね立て・マルチ張り

植え付けの7日前までに元肥の「有機盛々」をまいて、うね立てを行いマルチを張ります。



2 苗作り・種まき

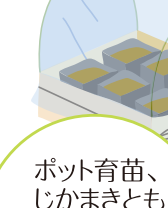
ポット育苗をする場合

④ 種は3粒ずつまいて、覆土します。



ビニールトンネル
早まきでは、トンネルで保温する。

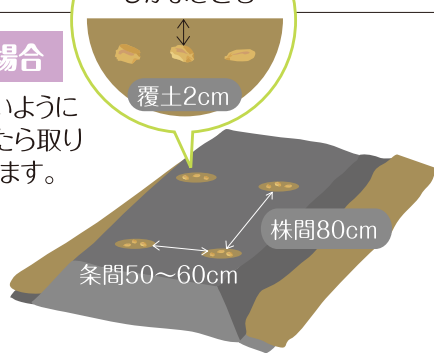
⑤



注
日中は30℃以上にならないよう換気につとめる。

直播(じかまき)をする場合

④ 発芽するまで乾燥しないように新聞紙をかけ、発芽したら取り日に良く当てるようにします。



3 間引き

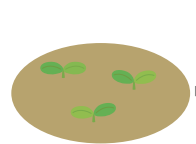
⑥



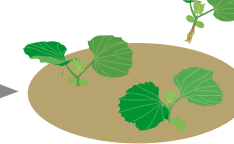
⑦



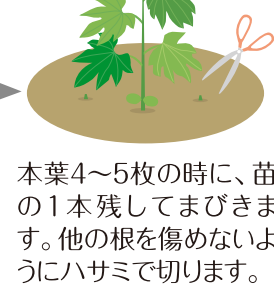
⑤



⑥



⑦



4 植え付け・支柱立て

植え付け

本葉3~4枚になったらビニールポットから出して植え付けをします。根鉢を崩さないようにします。



支柱立て

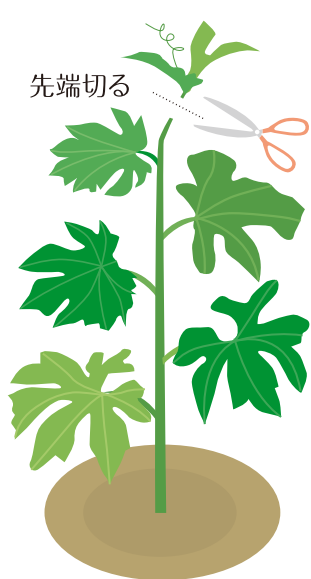
定植後、つるを伸ばすために支柱を立てます。



テープで2~3段張る。キュウリネットを使うと便利。

5 摘芯(芽止め)

仕立て方は放任でも良いが、本葉5~6枚になったら親づるの先端を切ると子づる、孫づるがよく伸びて収量が良くなります。



6 追肥

葉の色が黄色にならないように追肥を行い、かん水を行います。



■ 第1回目追肥
(定植後2週間~20日目頃)
「千代田550」を株元に少量まく。

■ 第2回目追肥
(収穫が始まった頃から月に2~3回程度)
1回目と同量に、株元にまく。

7 収穫

黄色の雄花が咲き授粉します。授粉後、2週間くらいで収穫できます。



緑色種は、果実が緑色になったら、白色種は表面にこぶが十分ふくらんできたら収穫します。まだ未熟な状態が食べ頃なので、早めの収穫を心掛けます。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
中間地				🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱		
暖地				🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱		
寒冷地				🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱		

🌱 種まき期
🌱 植えつけ期
🌱 収穫期

土いじり応援プロジェクト



無断転載禁止